

平成15年7月4日

黒沢友裕

月間 CD セールスランキングTOP10 サウンドスキャン調べ (タイアップは発表者)

2003年4/21～5/18

(売上の枚数は発売以来累計枚数 単位:万枚)

順位	売上	アーティスト	タイトル	タイアップ
1	49	森山直太郎	さくら(独唱)	クイズ番組「世界ウルルン滞在記」
↓ 2	206	SMAP	世界に一つだけの花 (シングルバージョン)	ドラマ 「僕の生きる道」
3	29	175R	空に唄えば(CCCD)	
4	16	桜庭裕一郎	お前やないとあかんねん	ドラマ 「ムコ殿2003」
5	13	モーニング娘。	AS FOR ONE DAY	
6	12	玉置成実	Believe(CCCD)	アニメ「機動戦士ガンダムSEED」
7	12	aiko	蝶々結び	
8	10	長渕剛	しあわせになろうよ	
9	8	倉木麻衣	KISS	SEABREEZE
10	8	平井堅	LIFE is... ～ another story ～	ドラマ「ブラックジャックによろしく」

今月の森山直太郎、SMAP、平井堅の曲に共通していることはなんだろうか。それはどのシングルCDも「リカット」された曲である、ということである。「リカット」とはアルバムの中に収録されている曲をアルバムの発売後、その中から1曲を切り抜いてシングルとして再び販売することである。欧米には昔から見られた手法だが、日本ではそう馴染みのあるものではなかった。しかし、最近、このリカットシングルが少しずつ増えている。それはなぜか。2,3年前まではシングルのヒット曲を多く入れるのがアルバム作りのコツであったが、最近はシングル自体のセールスが伸び悩んでいるため、アルバム内の評判のいい曲、ファンだけが知る隠れた名曲を販売した方が売れるからである。それに効果的なタイアップを付ければ、ファン以外にも広くアピールをすることができる。これまではアルバムを長く売るためにリカットシングルは使われていたが、シングル不況によって、逆転の発想が生まれたようである。

参考文献

(編)著者名	刊年	書名	出版社
日経BP社編集部	2003年7月4日発行	日経エンタテインメント! 2003年7月号 No.76	日経BP社